

2024年度

社会福祉法人 山形

事業計画書

(2024年4月1日～2025年3月31日)

2024 年度 運営方針

サンシャイン大森は、おかげ様で本年度 26 周年を迎えることになりました。これまでたくさんのご支援を賜り心から感謝申し上げます。わたくし達を取り巻く状況は気候変動や自然災害、そして物価高騰など難しい対応をせまられたり、負担感を覚えて、ふとひと呼吸しながら、皆が頑張っています。

このような状況のなか、サンシャイン大森は目線の高さを生活において、明るく、楽しく、たくましく前を見て過ごしていきたいと考えております。

2024 年度介護報酬改定の概要は医療と介護の連携です。とくに「栄養・機能訓練・口腔」の管理に重点がおかれ、疾病の予防に努めてまいります。

本年度、2 か所めの歯科医院と協定を結び、ご利用者様の口腔衛生に力点を置き、肺炎防止に努めてまいります。

毎日の食の在り方についても、施設内での行事食はもちろんの事、外出しレストランに出かける機会も増やし、ご利用者様の笑顔を増やしていきます。

給食について、「心のこもったおいしい食事を提供する」ために、職員による直営の厨房の実現に向けて、検討を行います。

2028 年の創立 30 周年を目標にして、事業を継続的に進めるように計画的に施設整備を実施します。

【理念】

あんしん あんぜん あったかい 介護をめざします。

あんしん

- ・ 個人情報保護し人格、価値観、尊厳を尊重します。
- ・ お一人おひとりの声に耳をかたむけます。
- ・ わかりやすい料金体系の説明をします。

あんぜん

- ・ ゆったりと家庭的な雰囲気でも過ごせる環境をつくります。
- ・ 地産地消の食材を使った食事を提供します。
- ・ 介護の専門職として適切な対応を行います。

あったかい

- ・ 思いやり、笑顔、感謝を込め大切な時間を提供します。
- ・ ご利用者との出会いを大切にします。
- ・ 地域に根ざした福祉活動を展開します。

◎ 基本方針

(1) 質の高い介護サービスを提供します。

- ・ 基本的人権の尊重を掲げ、プライバシー保護を守ります。
- ・ 新たに歯科医院と契約し、ご利用者の歯科検診と歯科衛生士による口腔状態を把握し、研修会を通し介護職員の技術向上を行い、口腔状態の清潔保持をはかります。
- ・ 虐待防止を徹底するために、指針を整備し、委員会や研修を開催して職員に対して周知徹底をはかります。
- ・ 見守り機器を導入し、ご利用者の状況把握と「見守り機器等を安全かつ有効に活用するための委員会」を設置し、転倒防止や褥瘡発生対策を早期に構築します。
- ・ 施設内の情報等インターネットを使い、ホームページの活用強化と YouTube の発信を継続し施設内の様子を見える化いたします。
- ・ 医療と介護の連携をはかり、喀たん吸引、経管栄養注入等の、医行為ができる職員を育成いたします。
- ・ 重度の介護が必要とされているご利用者、最後まで「ここで暮らしたい」と希望されるご利用者やご家族の看取り支援を行います。
- ・ 介護予防、総合事業の受け入れを行い、健康状態が維持できる支援を行います。
- ・ 事業継続計画を策定し火災、水害、土砂災害、地震家屋倒壊、感染症を想定した訓練を実施します。
- ・ 交通ルールを守り、車両運転教育の実施と安全点検の強化をはかり、交通事故のない運転を行います。
- ・ 介護事故防止の対策を、専門職のチームで議論し解決策をつくり実践できる仕組みづくりを行います。
- ・ ご利用者様の食事に毎日「酒粕」を使ったメニューを取り入れ健康増進をはかります。
- ・ 感染管理を徹底しバイキングランチを年 2 回実施します。

(2) 社会福祉の拠点として、地域との交流をはかる

- ・ 医療機関、福祉・保健施設等地域の関係機関と連携し、また、地域とのネットワークの構築により、より良いサービスの提供につなげます。
- ・ 山形県リハビリセンターと、災害時などの対応について、協力体制ができるよう協議します。
- ・ 障がい者の方が利用できる仕組みを構築し、受け入れを行っていきます。
- ・ 可能な限り、実習生等を積極的に受け入れ、若者の人材育成に貢献します。
- ・ 地域の方を対象とした健康、介護、関係機関へ広報活動を行い、情報や知識を提供します。
- ・ オンライン会議やウェブを活用して情報交換ができるようにしていきます。

(3) 継続して働ける職場環境づくり

- ・人材育成に努め、新入職員の教育、中間層から監督職までの段階を考慮しミーティングする機会をつくり、思ったことを話せる環境を整えます。
- ・職員がスキル向上できる講習会、研修、資格習得に積極的に参加します。
- ・資格取得で難易度が高い、介護支援専門員、主任介護支援専門員が取得できるよう支援します。
- ・職員の健康管理に努め、健康診断、人間ドック(40歳、60歳)、ストレスチェックの継続実施など労働環境を整えます。
- ・職員の生活習慣病の防止対策としてお昼に、温かいご飯と納豆の提供を行い健康づくりのお手伝いをいたします。
- ・腰痛や転倒の労働災害防止として、平日11時に館内ラジオ体操の音楽を2回流し、ご利用者様と職員と一緒に体操し、心と体のリフレッシュに取りくみます。
- ・介護実務者研修終了者で夜勤可能な職員、6ヵ月以上当施設で勤務した職員については、正職員化していきます。
- ・無資格の職員へ認知症介護基礎研修等が受講できるようにします。
- ・職員ランチは月2回を月3回に増やし、栄養バランスのとれたメニューにします。

(4) 感染対策の徹底

- ・施設内設備の充実と常日頃からの感染症の予防に努め安全管理を行います。
- ・手洗い、換気、マスク着用、密を避ける行動を徹底します。
- ・職員の体調不良時の対応として、回復するまで休暇をとり、利用者様へ感染させない取り組みを行います。
- ・新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン接種を受けて感染予防に努めます。
- ・備品調達、補充、点検を実施し、感染防御服着用し介護提供訓練を実施し、万が一の時の対応がスムーズに行えるようにしていきます。
- ・各機関からの情報収集に努め、BCPなどのマニュアル整備と訓練をいたします。
- ・オンライン面会など取り入れ、ご利用者様とご家族の面会を継続します。感染症の状況に応じ、できる限り面会ができる支援をします。

(5) その他

- ・特別養護老人ホームの職員の勤務表をデジタル化し、業務省力化をはかります。
- ・ご利用者様の請求書・領収書・情報提供等電子化しペーパーレス化を継続して行います。
- ・「見守り機器等を安全かつ有効に活用するための委員会」を設置し、心肺機能、睡眠・呼吸状態等が把握できる見守り機器の使い方を研修し、ご利用者様の安全確保と褥瘡防止に役立てていきます。

- ・ デイサービス事業の在り方について検討を継続します。
- ・ 創立 30 周年までの中長期計画を立案し施設整備に順次取り組んでいきます。
- ・ 厨房直営準備室を設置して、「心のこもったおいしい食事を提供する」ために、稼働に向けて準備します。
- ・ 特別養護老人ホームの中庭等を整備し、ご利用様が気軽に日光浴ができる事や感染対策時に利用できる水場をつくります。
- ・ 寮母室と百花のいえの通路側の和室、浴室を改修し、スタッフルーム、倉庫をつくりま
す。